



司書

2021年度新規採用職員インタビュー

「ようこそ『知の拠点』福島県立図書館へ！」

所属

県立図書館 資料情報サービス部

逐次刊行資料チーム

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 県立図書館では、様々な資料の収集・整理・保存を行い、利用者の方へ提供しています。私は逐次刊行資料チームに所属し、新聞に関する業務を担当しています。主たる業務は、新聞の整理・提供や、破れなどの修理と新聞の製本業務です。その他、貸出・返却を行うカウンター業務や、調べものに関する相談を受けるレファレンスサービス業務など、利用者の方に関わる機会も多くあります。こうした業務を通して利用者の方に満足していただけることにやりがいを感じています。



↑マイクロフィルムを使った調査の様子

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 県立図書館の司書として、専門的知識の獲得はもちろん、利用者の方々と資料を繋げる“案内人のスペシャリスト”を目指して頑張っています。さらに、「図書館って本を借りるだけじゃなくてこんなこともできるんだ」と図書館に対するイメージを変え、新しい利用方法の提案をしていくなど、どんどん図書館を盛り上げていきたいです。



Q. 県職員を志望した理由を教えてください。

A. 前職は市立図書館に勤めており、他図書館や公共施設などとの連携について関心を持っていました。そこで、他図書館との連携や市町村図書館の運営サポートなどから県内の図書館シーンを盛り上げたいと考えるようになり、県職員を志望しました。



↑新聞のクリッピング作業



↑カウンター業務

Q. どうやって仕事を覚えていますか。

A. 何度も繰り返しやることと、後回しにしないことを心掛けています。また、間違っただま覚えてしまわないように、ちょっとでも疑問に思ったときには、マニュアルを見たり、上司に確認したりするようにしています。

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「子育て中」「趣味はスノーボード」「地元福島大好き」「ドライブ好き」「レペゼン福島」

Q. 「地元福島大好き」について教えてください。

A. 冬は猪苗代へスノーボードに、夏は南相馬へサーフィンに行くなど福島の自然を一年中楽しんでいます。そんな福島のいいところをたくさん発信していきたいですし、これから出会う福島の美味しいものや、素敵な場所、素敵な人に出会えることにわくわくしています。

Q. 「子育て中」について教えてください。

A. 3歳になった息子の子育てに奮闘中です。息子の誕生をきっかけにワークライフバランスを一番に考えるようになりました。これからも仕事と育児に全力で向き合っていきたいです。